

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目次

■2025年度 主要競技会日程

■活動報告

第236回ワールドアスレティックス (WA) カウンシル会議報告

第236回ワールドアスレティックス (世界陸連、WA) カウンシル会議が2024年12月3日～4日にモナコで開催され、カウンシルメンバーとして参加いたしました。

第52回日本陸上競技連盟トレーナー研修会開催報告

第52回日本陸上競技連盟トレーナー研修会を2025年1月13日(月・祝)に、オンラインで開催しました。今回は、「陸上競技における救護活動に必要な基礎知識」をテーマに、我々トレーナー部員が陸上競技の安全管理として関わる機会が多い、陸上競技をとりまく救護活動について考える機会としました。

■大会観戦ガイド

第108回日本陸上競技選手権大会・20km競歩

兼 東京2025 世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

兼 グミ2025 アジア陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

第36回U20選抜競歩大会

第108回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走

第40回U20日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走

兼 タラハシー2026 世界クロスカントリー選手権大会 日本代表選手選考会

名古屋ウィメンズマラソン2025

兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ・G1

兼 東京2025 世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

■事務局からのお知らせ

【お知らせ】日本選手権 申込資格を公開しました！～東京2025世界陸上への挑戦～
赤松諒一選手がJOCアスリート委員に当選：陸上界を代表し、スポーツの価値を人や社会へ繋げる活動を

東京2025世界陸上への道：WAランキングをチェックしよう！

information

- ・個人情報の共同利用について

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16577/>



- ・WRK対象競技会／広告規程について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2024年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2025年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17671/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2026年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21242/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2027年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21243/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2028年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21244/>



- ・アンチドーピング／鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



2025年度主要競技会日程

*J1 国内区分 (括弧:今後申請予定)
 *JH:日本選手権 *GP:日本グランプリシリーズ *MGC:MGCシリーズ *DC:ホクレン・ディスタンスチャレンジ *代表:日本代表派遣競技会
 *2 国際区分 (括弧:今後申請予定)
 *(WA):World Athletics *AA:Asian Athletics *FISU:International University Sports Federation *OCA:Olympic Council of Asia
 *(WA)S:World Athletics Series *(CT):World Athletics Continental Tour *(Label):World Athletics (Label) Road Races *OW~Fなどのアルファベットは、(WA)競技会カテゴリを示す。

2025年1月28日現在

日程	競技会	開催地	開催場所	区分	国内区分※1	国際区分※2	
4月	12日(土)~13日(日)	吉岡徳記記念第79回出雲陸上競技大会	島根	島根県立浜山公園陸上競技場	(後援) GP		
	12日(土)	第33回全業記念選抜陸上中長距離大会2025	熊本	えがお健康スタジアム	(後援) GP		
	12日(土)	第109回日本陸上競技選手権大会:10000m	熊本	えがお健康スタジアム	主催	日本選手権	B
	19日(土)~20日(日)	第73回兵庫リレーカーニバル	兵庫	神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場	(後援) GP		
	20日(日)	第27回長野マラソン	長野	長野	主催	(MGC)	
5月	15日(火)~18日(金)	2025年アジアU18陸上競技選手権大会	サウジアラビア	ダマーム	国際	AA	
	25日(火)~27日(日)	2025日本学生陸上競技個人選手権大会	神奈川	レモンガスタジアム平塚	(後援) GP		
	27日(日)	高橋尚子杯きふ清流ハーフマラソン2025	岐阜	岐阜	(後援) GP	(WA) (Label)	(Gold) B
	29日(火)	第59回織田幹雄記念国際陸上競技大会	広島	広島県立広島公園陸上競技場	(後援) GP	(WA) (CT)	(Bronze) C
	3日(土)	第40回静岡国際陸上競技大会	静岡	小笠山総合運動公園静岡スタジアム	(後援) GP	(WA) (CT)	(Bronze) C
6月	4日(日)	第36回ヨーロッパゲームズinのべおか	宮崎	延岡西高陸上競技場	(後援) GP		
	5日(月)祝	2025水戸招待陸上	茨城	ケーズデンキスタジアム水戸	(後援) GP		
	10日(土)~11日(日)	2025世界リレー	中国	広州	国際	WA	
	11日(日)	仙台国際ハーフマラソン大会2025	高城	仙台	(後援) GP		
	11日(日)	第12回木曽連年記念陸上競技大会	大坂	ヤンマースタジアム長居	(後援) GP	(WA) (CT)	(Bronze) C
7月	18日(日)	ゴルフクラブ陸上2025	韓国	蔚山	国際	AA	
	27日(火)~31日(土)	G2025 アジア陸上競技選手権大会	韓国	釜山	国際	AA	
	1日(日)	布勢スプリント2025	鳥取	鳥取県立布勢総合運動公園陸上競技場	(後援) GP	(WA) (CT)	(Challenger) D
	5日(木)~8日(日)	第94回日本学生陸上競技対校選手権大会	岡山	シテイパルクスタジアム	主催		
	8日(日)	第22回田島直人記念陸上競技大会	山口	維新百年記念公園陸上競技場	(後援) GP	(WA)	F
8月	11日(水)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2025 深川大会	北海道	深川市陸上競技場	主催	DC	F
	14日(土)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2025 土別大会	北海道	土別市陸上競技場	主催	DC	F
	29日(日)	調整中	北海道	高館	(後援) GP		
	4日(日)~6日(日)	第109回日本陸上競技選手権大会	東京	東京	主催		B
	12日(土)~13日(日)	第109回日本陸上競技選手権大会-混成競技	岐阜	岐阜メモリアルセンター-長良川競技場	主催		B
9月	12日(土)~13日(日)	第41回U20日本陸上競技選手権大会-混成競技	岐阜	岐阜メモリアルセンター-長良川競技場	主催		F
	12日(土)~13日(日)	第109回日本陸上競技選手権大会-リレー競技	岐阜	岐阜メモリアルセンター-長良川競技場	主催		F
	12日(土)	TWOLAPS MIDDLE DISTANCE CIRCUIT	東京	世田谷区立総合運動場陸上競技場	主催		
	12日(土)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2025 千歳大会	北海道	千歳市青葉陸上競技場	主催	DC	F
	16日(水)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2025 北見大会	北海道	北見市東陵公園陸上競技場	主催	DC	F
10月	19日(土)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2025 網走大会	北海道	網走市宮陸上競技場	主催	DC	F
	21日(月)~27日(日)	FISUワールドユニバーシティアゲームズ(2025 ライン・ルール)	ドイツ	ライプツィヒ	国際		
	25日(金)~29日(火)	第78回日本高等学校陸上競技対校選手権大会	広島	広島広域公園陸上競技場	国際		
	3日(土)祝	富士山マラソン2025	山梨	山梨県立北麓公園陸上競技場	(後援) GP		
	9日(土)調整中	2025オーストラリア陸上(第65回英米国・学生対抗陸上競技大会)	神奈川	神奈川	(後援) GP		
11月	11日(祝)~14日(木)	第60回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会	東京	1日目 江東区夢の島競技場 2日目以降 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場	主催		
	15日(金)~16日(土)	Athlete Night Games in FUKUI 2025	福井	福井県福井運動公園陸上競技場	主催	GP	
	17日(日)~20日(水)	第52回全日本中学校陸上競技選手権大会	沖縄	浦添	主催		
	28日(木)~29日(金)	第60回全国高等学校体育教育大会陸上競技北海道マラソン2025	北海道	大分	(後援) GP		
	13日(土)~21日(日)	東京2025世界陸上競技選手権大会	東京	札幌	(後援) GP	(MGC) (WA) (Label)	E
12月	26日(金)~28日(日)	第73回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	東京	山科	国際		
	26日(金)~28日(日)	サン・デューク2025 世界U24陸上競技選手権大会	アメリカ	サン・デューク	国際	WA	
	25日(木)~28日(日)	カンフランク2025 世界ウレシントレイルランニング選手権大会	スペイン	カンフランク	国際		
	27日(土)~28日(日)	第41回U20日本陸上競技選手権大会	静岡	静岡県草薙総合運動場陸上競技場	主催		
	調整中	調整中	ウズベキスタン	タシケント	国際		
2026	3日(金)~7日(火)	第79回国民スポーツ大会	新潟	デンカビッグスワンスタジアム	(後援) GP	(WA) (CT)	(Bronze) C
	4日(土)~5日(日)	日本マスターズ陸上競技選手権2025福岡大会	滋賀	平和堂HATOスタジアム	主催		
	調整中	調整中	福岡	福岡市博多の森陸上競技場	(後援) GP		
	17日(日)~19日(日)	第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走	島根	出雲	主催		
	18日(土)	第19回U18・U16 新設種目U16 陸上競技大会	三原	三原交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場	主催		
1月	18日(土)	第45回大阪国際女子マラソン大会	フランス	アルビ	国際		
	19日(日)	東京レガシーハーフマラソン2025	東京	東京	共催		
	調整中	調整中	香港	香港	国際		
	調整中	調整中	香港	香港	国際		
	調整中	調整中	第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	宮城	仙台	(後援) GP	
2月	3日(月)祝	日本マスターズ陸上競技選手権2025福岡大会	福岡	福岡市博多の森陸上競技場	(後援) GP		
	16日(日)	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		
	23日(日)	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		
	7日(日)	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		
	7日(日)調整中	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		
3月	21日(日)	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		
	調整中	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		
	調整中	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		
	調整中	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		
	調整中	調整中	調整中	調整中	(後援) GP		

第236回ワールドアスレティックス (WA) カウンシル会議報告

日本陸上競技連盟副会長 有森 裕子

第236回ワールドアスレティックス (世界陸連、WA) カウンシル会議が2024年12月3日～4日にモナコで開催され、カウンシルメンバーとして参加した。同会議の概要は以下の通りである。

1. 2024年を振り返って

2024年陸上界は大きな盛り上がりを見せ、数字で振り返っても、視聴者数、ソーシャルメディアへのアクセス数は大きく伸びた。陸上はよりグローバルな競技となり、入賞者を輩出する国数は増え、パリオリンピックでは金メダルは27か国の選手に渡り、ボツワナ、セントルシア、ドミニカ、パキスタンが初の金メダルを受賞した。WA大会に於けるサステナビリティへの取り組みは高い評価を受け、大会主催都市での経済効果は顕著である。マーケティングではホンダとの新たな契約締結を含め、順調にパートナーシップを推進している。陸上界は改革を受け入れ、新たな取り組みができる組織風土であり、リスク分析、リスクマネジメントを徹底して前に進む必要がある。2025年の課題としては、更なる改革に向けて、2026年初開催のUltimate Championshipsの準備、WASイベントでの新たな取り組み、競技規則の改正、ロード戦略、デジタルトランスフォーメーションが挙げられるが、同時に、WAの最重要大会である世界陸上競技選手権東京大会を成功させる必要がある。

2. WA主催大会 (WASイベント)

① 2025年世界室内陸上競技選手権大会 (中国・南京) のタイムテーブルが承認された。

大会は3月21日から23日まで合計6セッションで構成され、全てのセッションで決勝種目が実施される。

② 2025年世界リレー (中国・広州) のタイムテーブルが承認された。大会は5月10日・11日に開催され、混合4×100mリレーの実施が決定された。根強いリレー種目、混合種目の人気を受け、同大会で行い、今後の方向性を検討するが、2026年Ultimate Championshipsでの実施は決定している。

③ 世界ロードランニング選手権大会 (米国・サンディエゴ) のタイムテーブルが承認された。

大会は2025年9月26日から28日まで開催され、マイル競技から始まって、ハーフマラソンで幕を閉じる。2026年大会より通常の各国陸連からのエントリー枠に加えてハーフ、5km、マイルの各種目に最大5名のワイルドカードを認める事が決定された。ワイルドカード対象者はオリンピック、世界陸上、前回の世界ロードランニング選手権のメダリスト、世界記録保持者が想定されており、WAが選出する。

④ 世界陸上東京大会参加資格の一部修正が承認された。35km競歩の参加資格取得期間を20km競歩と合わせて、2024年2月25日から2025年8月24日と修正した。

ダイヤモンドリーグからのワイルドカードは2024年大会ではなく、2025年大会の結果から取得できるものとする。

⑤ グローバルカレンダーの見直し

現在の国際競技カレンダーでは偶数年に多くのWASイベントが集中している事から、世界クロスカントリー選手権を奇数年開催に変更する事が決定された。2026年はアメリカ・タラハッセでの開催が決定しているが、その後は2027年、2029年開催とする。

3. 競歩

① 2026年1月1日以降のWAS大会で実施する競歩の距離を20km

競歩はハーフマラソン競歩 (21.0975km) に、35km競歩はマラソン競歩 (42.195km) に変更する。陸上ファンが慣れ親しんだ距離で実施する事によって、競歩をより身近な種目としてその凄さを実感できるようにすると同時に、一般への更なる普及を目指す。

② 世界U20世界選手権で実施されていた男女10000m競歩は廃止され、2026年ユージン大会から5000m競歩に変更される。若い選手の健康への配慮、成長に合わせた距離の延長、大会参加機会増加の狙いがある。

4. フィールド水平種目のファイナルでの試技方法

フィールド種目を見ているファンにとってよりおもしろくするために、ファイナルでの新たなモデルを採用する事が決定した。ファイナリスト12名で各選手3試技を行い、第3試技後に成績下位2名が落とされる。その後、上位10名で第4試技、上位8名で第5試技、上位6名でメダル争いの最終試技を行う事とする。全体試技数はこれまで同様の60試技。

5. WA規則と規定の変更

① アンチ・ドーピング規則

AIUからの提案に基づき2025年1月から施行される世界アンチ・ドーピング規則が承認された。

② 選手代理人 (AR) に関する規則

従来の規則では大会ディレクターは利益相反と見做されARを継続する事ができなかったが、各々の身元審査を行い、コンプライアンスを遵守する事で役割を兼務する事を可能とする。

③ テクニカルルール20.2.3が改定され、WAS大会に於ける組編成に於いて、テクニカルデレゲートに公平な形で関与できる権限を認めた。

④ シニア競歩種目の距離の変更に伴い、テクニカルルール32、54.1、54.7.3が改正された。

⑤ テクニカルルール41.3が改定され、ショートトラックのスパイクの長さについては、施設管理者が合意した場合には全ての種目で9mmまでを使用する事が認められる。

⑥ WAインドアツアー規則が改定され、各大会のレベルによる要件が明確にされた。

6. その他

① 施設管理者や行政の負担を軽減するために、施設認証制度が改定され、従来最大とされていた12年を経過後もWAの定める検査を受け、その結果基準を満たしていると認められた場合には認証を延長する事ができる。但し、サーフェスは20年以下である必要がある。従来の5-4-3年から5-4-3-2-2年への変更。

② 競技会に於ける記録操作の疑いでAIUの監視下におかれていたアルバニア、アルメニア、ジョージア、カザフスタン、キルギスタン、モルドバ、トルコ、ウズベキスタンでは改善が確認され、その監視が解除された。

③ トリニダードトバゴ陸連がAIUの監視下におかれ、世界陸上東京大会に参加する選手には事前のドーピング検査等必須要件が課せられる。

④ WAはアスリート委員会やジェンダーリーダーシップタスクフォースと一体となって、ジェンダーに基づく暴力に立ち向かう事を表明し、同問題の認知、教育、改革に取り組む。

第52回日本陸上競技連盟トレーナー研修会開催報告

日本陸連医事委員会トレーナー部運営部員 廣重陽介

第52回日本陸上競技連盟トレーナー研修会を2025年1月13日（月・祝）に、オンラインで開催しました。今回は、「陸上競技における救護活動に必要な基礎知識」をテーマに、我々トレーナー部員が陸上競技の安全管理として関わる機会の多い、陸上競技をとりまく救護活動について考える機会としました。

午前中のセッションでは、真鍋知宏医事委員長（慶應義塾大学）より世界アンチ・ドーピング機構が公開した2025年禁止物質リストについての解説をいただきました。また、本年9月に開催の東京世界陸上に向けた準備状況の共有、トレーナーに関する期待などについてもご講義いただきました。その後、パリオリンピックへの帯同を務めた砂川祐輝運営部員（Well鍼灸整体・ピラティス）より、日本代表活動のトレーナー帯同報告が行われました。チーム結成前からのコンディション把握の具体的な方法や、大会前の事前合宿および大会中のサポートにおける活動内容についてご講演いただきました。

その後、今回のテーマである「陸上競技における救護活動に必要な基礎知識」として、陸上競技における様々な視点から救護・医務活動の考え方について講演がありました。松尾信之介運営部員（大阪学院大学）による「東京世界陸上2025での活動計画とトレーナーに求める能力」では、世界陸上でのトレーナー業務や求められるスキルについての紹介があり、参加トレーナーに期待される能力について示唆をいただきました。次に大山下圭悟部長（筑波大学）による「陸上競技会の救護に関するルールについて」では、救護員が競技中の選手に触れたら反則になるのか？など、競技会の救護活動を円滑に進めるための陸上競技のルールについてご講義いただきました。廣重陽介運営部員と加藤基部員（ともに帝京大学）からは、「大会における救護事例報告」として、これまでの救護活動のうち、課題が残った事例について共有と解決策の検討やロード種目の救護活動の留意点についてご講義いただきました。最後に、松下美穂運営部員（森ノ宮医療学院専門学校）による「大会救護における医務室でのトレーナー活動と重度熱中症への対応」では、熱中症症状で医務室へ搬送されてきた選手への対応方法や他職種との連携事例を中心に東京五輪の経験をもとにご講義いただきました。

会の中で日本陸連のオフィシャルスポンサーであり、トレーナー部の活動においても日々お力添えいただいている大塚製薬の保土田様より情報提供をいただきました。今回はカロリーメイトの商品タイプの違いによる使い分けなど実践的な活用方法についてご教示いただきました。

本研修会はトレーナー部員に加え、日本スポーツ協会公認AT、日本陸連医事委員の医師、世界陸上財団の大会運営関係者など300名以上の参加をもって盛大に行われ、陸上競技の安全管理について多職種で再考する機会となりました。春からは競技会シーズンとなり、9月には世界陸上が開催されます。本研修内容を受講者が実践的に活用することを期待して会を終えました。

JAAP JAAP トレーナー研修250113

ルールの確認

- 試合中（長距離の走行中）フラフラする選手に声をかけをしたり一時的な介護のために身体に触れることは可能か？
- 自分がチーム付きのトレーナーである時、試合中の競技者に直接処置を行うことができるか？
- 傷病者への対応と競技の進行、どちらが優先される？

FOP体制（東京2020五輪後）

4

大会観戦ガイド

第108回日本陸上競技選手権大会・20km競歩

兼 東京2025世界陸上競技選手権大会
日本代表選手選考競技会
兼 クミ2025アジア陸上競技選手権大会
日本代表選手選考競技会
第36回U20選抜競歩大会

▼期日：2025年2月16日（日）

▼競技開始/制限時刻（制限時間）：

- (1) 日本選手権男子20km競歩
8時50分/10時20分（制限時間：1時間30分）
- (2) 日本選手権女子20km競歩
9時10分/10時59分（制限時間：1時間49分）
- (3) U20選抜 男子10km競歩
11時10分/11時59分（制限時間：49分）
- (4) U20選抜 女子10km競歩
12時10分/13時04分（制限時間：54分）

▼コース：六甲アイランド甲南大学西側20kmコース
（WA認証 日本陸連公認コース）

▼問合せ先：【申込・大会全般について 日本陸上競技連盟】
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT
OLYMPIC SQUARE 9階

お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/k7rMMxLkPRBA89DF9>

【競技運営について 兵庫陸上競技協会】

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1-6 神戸市生涯学習
センター内

TEL：078-231-1771（土・日・祝日を除く10：00～17：00）

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1834/>



写真：フォート・キシモト

第108回日本陸上競技選手権大会

クロスカントリー競走

第40回U20日本陸上競技選手権大会

クロスカントリー競走

兼 タラハシー2026世界クロスカントリー選手権
大会 日本代表選手選考会

▼期日：2025年2月22日（土）

▼場所：国営海の中道海浜公園クロスカントリーコース（福岡
市東区西戸崎）

▼種目/距離・スタート：

- ① U20女子6km 12：50
- ② U20男子8km 13：15
- ③ シニア女子8km 13：50（日本代表選考種目）
- ④ シニア男子10km 14：25（日本代表選考種目）

▼問合せ先：【福岡クロカン事務局】〒810-0004 福岡市中央区渡
辺通1-12-9 フジビル3F 福岡クロカン事務局 TEL：092-
738-2180、FAX：092-738-2243【土・日・祝日、年末年始（12/28
～1/5）を除く10：00～12：00/13：00～18：00】大会ホ
ームページ：www.fukuoka-xc.jp

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1916/>

名古屋ウィメンズマラソン2025

兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ・G1

兼 東京2025世界陸上競技選手権大会

日本代表選手選考競技会

▼日時：2025年3月9日（日）9：10スタート

▼コース：名古屋ウィメンズマラソンコース（バンテリンドー
ム ナゴヤ発着、日本陸上競技連盟、WA/AIMS 公認コース）

▼種目：女子マラソン

▼申し込みに関する問合せ：

【日本国内在住者】
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知ランナ
ーコールセンター

TEL：0570-550661（受
付時間 平日10：00～
17：00）

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1920/>



写真：フォート・キシモト

事務局からのお知らせ

◆◆【お知らせ】日本選手権 申込資格を公開しました！～東京2025世界陸上への挑戦～◆◆

2025年度に開催する「日本選手権」の申込資格が決定しましたので、お知らせいたします。



▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21330/>



◆◆赤松諒一選手がJOCアスリート委員に当選：陸上界を代表し、スポーツの価値を人や社会へ繋げる活動を◆◆

JOCは、平成11年よりアスリート委員会（平成14年から29年まではアスリート専門部会）を設置し、アスリート自身が選手経験の立場から、オリンピック・ムーブメントの推進や選手強化事業の支援に関する活動を継続的に進められています。この度、JOCアスリート委員の開票が行われ、陸上競技から立候補していた赤松諒一選手（SEIBU PRINCE）が当選いたしましたのでお知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21298/>



◆◆東京2025世界陸上への道：WAランキングをチェックしよう！◆◆

2025年9月13日から21日にかけて、東京2025世界陸上（第20回世界陸上競技選手権大会）が開催されます。WAはRoad to Tokyo 25として、東京2025世界陸上へ向けての選手ランキングを随時更新しています。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21284/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

- 尾縣 貢（陸連会長）
- 有森 裕子（陸連副会長）
- 風間 明（陸連副会長）
- 室城 信之（陸連副会長）
- 田崎 博道（陸連専務理事）
- 山崎 一彦（陸連強化委員長）
- 鈴木 英穂（陸連事務局長）
- 石井 亮（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

- 平野 了
- ◇時報編集担当
- 日本陸連 広報

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL：050-1746-8410
FAX：050-3588-1869